



希少難病の子どもたちに笑顔と幸せを届ける治療を

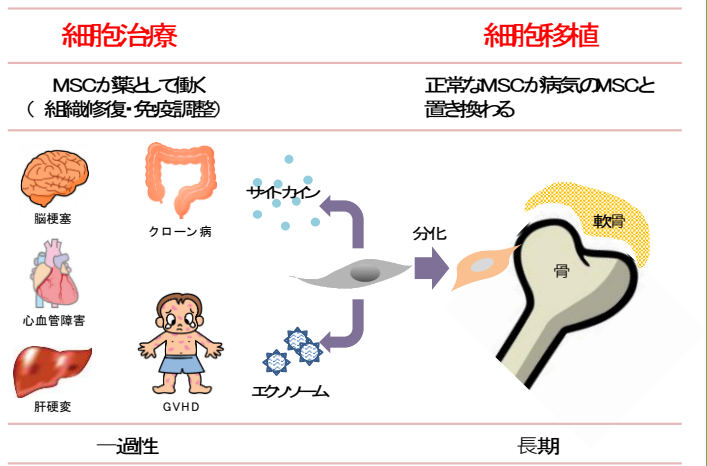
医学部 教授 竹谷 健

希少難病の子どもたちの多くは確立した治療法がないため、日常生活に支障があったり、生命の危険にさらされていることも少なくありません。そこで、我々は間葉系幹細胞を用いた再生医療に取り組んでいます。間葉系幹細胞とは、骨髄、胎盤、臍帯、滑膜、歯髄などに存在する幹細胞で、骨、軟骨、脂肪に分化します。その機能は大きく3つに分かれており、骨・軟骨・脂肪の再生、免疫調整、組織修復があります。これらの機能を利用して、先天性骨系統疾患に対する骨再生、新生児慢性肺疾患、ミトコンドリア病などの治療研究に取り組んでいます。希少難病の子どもたちとご家族に笑顔と幸せを届けることができるよう、これからも研究を進めてまいります。

間葉系幹細胞

Mesenchymal stem cell, MSC

- 骨、軟骨、脂肪に分化する体性幹細胞
- 多機能を有する
 - ① 再生（骨・軟骨・脂肪）
 - ② 免疫調整
 - ③ 組織修復



先天性骨系統疾患に対する
間葉系幹細胞による骨再生

ミトコンドリア病に対する
高純度間葉系幹細胞によるミトコンドリアトランスファー

